



アルゼンチン

ブエノスアイレス

2001年10月～2006年7月
(2020年記 2022年修正)

子どもの年齢 長男: 小5～中3 (11歳～15歳) 日本人学校
長女: 年中～小4 (5歳～9歳) 現地幼稚園 日本人学校

基本情報

気温	日本と同様四季があるが、南半球なので季節は日本とは逆さになり、一番暑いのは1月、寒いのは7月 夏は暑くなるが日本ほどは湿気がない 年間通じて降雨はあるが、3月と10、11月がやや多く、6、7月はやや少ない クーラーは必要だが概しておだやかで過ごしやすい
緊急電話	警察 101・救急 107・消防 100
電圧	240v
水	水道水は飲料可であるが、ラプラタ川の水を浄化しているので美味しくなく、飲用にはミネラルウォーターを買うことが多い ミネラルウォーターはアンデス山脈から採取したもので種類は豊富 予告なしの断水があるので水の常備は必要

買い物

日本の物	日本食品は「Nueva Casa Japonesa」や、中華街(ベルグラノー地区)で調達できる
食料品	日本の食材は一通り手に入るが、米、菓子、野菜類、豆腐等の値段は高め 中国系スーパーもある お肉とワインの国なのでどちらも安価でおいしい 日本食レストランも何軒かある
日用雑貨	日本のものは限られたものになるが、「Nueva Casa Japonesa」で入手可能
学用品	特別なものでなければショッピングセンターやスーパーなど現地調達可能 子どもの学校のノート(ジャポニカ等特に縦書き)は日本から持参する方がよい
衣類	ショッピングモールで購入可能 大人サイズと子供サイズの間くらいサイズがあまりないので、日本から持参するほうが良い

交通

公共交通	コレクティーボ(市内バス)があり、一般的である 地下鉄やタクシーも使いやすい
運転免許	国際運転免許証の有効期間は1年なのでその後は国際免許証から現地の免許証に切替えることになる 免許を持っていない場合は、現地で試験を受けて取得することは可能だが、かなり面倒になる 免許をもたなくても生活に不自由はない

住居

住宅事情	ブエノスアイレス中心部は殆どがマンションであり、家賃は高めだが、家具付きの物件はあまり多くない インフレがひどいので半年に一回くらい家賃の値上げがあったりする 冬季はセントラルヒーティングにより室内乾燥が過度になることがあるので加湿器はあった方がよい ほとんどのマンションにはポルテロという守衛さんがいて、小さな問題には対処してくれる 日本語ができる不動産屋もある
日本人が多く住むエリア	ベルグラノー区・・・日本人学校の通学エリア 日本人駐在員が多く住む パレルモ地区・・・おしゃれで綺麗な街 プエルトマデーロ地区・・・再開発エリアでありスタイリッシュな街 ブエノスアイレスのみなとみらい
使用人	ベビーシッターを頼む人もいる
治安 セキュリティ	スリ、強盗、置き引き、Motochoroという二人乗りのバイクによるハンドバッグや小物入れ等のひったくりが多発している 流しのタクシーは使用しないほうがよい

教育

通った学校	ダイランキフキ（現地幼稚園） ブエノスアイレス日本人学校
通った学校の詳細	・現地幼稚園は英語とスペイン語の両方を勉強できた（午前はスペイン語、午後は英語） ただしお便り等の連絡事項はスペイン語なので、日系の方々の助けが不可欠だった ・日本人学校は非常に小規模で小学校と中学校を合わせても30人程度の生徒数 生徒数に対して教職員の数は十分で、丁寧な指導を受けることができる 少人数の為、小学生の面倒を中学生がみたり、アットホームな雰囲気である 現地の学校との交流もあり、サッカーと一緒にやったりすることもある
塾 家庭教師	オンラインでの家庭教師 家に来てもらう場合は、伝手で探す人が多い
習い事	サッカー、スイミング、ピアノ、空手、剣道等 アルゼンチンはサッカーの国なので、チームに入ってサッカーを楽しむ人も多い
アドバイス	現地校もあるが、スペイン語の語学力が必須のため、通うのは永住者の子どもで駐在の子弟は通っていない、学校の選択は日本人学校かインターナショナルスクールになる

病院

医療事情	首都圏の衛生状態は比較的良好、医療水準も比較的高い 国民が皆、保険に加入しているわけではないので、救急車を呼んでも加入していないと運んでくれない 入国時に義務付けられている検疫上必要な予防接種はないが、現地の定期予防接種に従って、不足しているものを受けることになる ニッカイ共済会(Mutualnikkai)には二世の医師などを含めて20名程度の各専門医が登録されており、日本語は話さないが通訳を介して受診可 無料で受けられる公共医療サービス(国立病院)がある
------	--

日本人医師	日系2世を含め、日本語を話せる個人開業医、歯科医ともいる
薬品	Drug Store で購入できるが、日本人には強すぎるといわれているので子ども用の薬、及び常備薬は日本から使い慣れたものを持参するほうがよい

交流

日本人	日本人学校の保護者、習い事等で知り合える 日系婦人団体のセイボ会有り、日本からの駐在員、定住日本人、日系アルゼンチン婦人が参加していて親睦と交流に重点を置いた活動をしている
現地の人	同じデパルタ(集合住宅)内でのお付き合い、習い事の先生を通じて交流
駐在外国人	現地校、インターで交流

伝えたいこと

アルゼンチンの首都ブエノスアイレスは「南米のパリ」と異名を持ち、景観が非常にヨーロッパらしく、街行く人もヨーロッパからの移民の人が多いため南米に居ることをふと忘れてしまいそうになります。

アルゼンチン発祥の哀愁をおびたタンゴも見逃せません。

日本から一番遠いといってもいいぐらいのアルゼンチン。南北に長い国ゆえに、北部と南部では気候も大きく違います。

北には砂漠や大きな塩湖、ブラジルとの国境にはイグアスの滝があります。南部パタゴニア地方は年間を通して低温、風が強く、壮大なペリトモレノ氷河があります。南極への船も最南端の街、ウシュアイアから出航します。

日本では体験できないような壮大な自然を堪能でき、文化的な香りのたまたようアルゼンチンでの生活は、慣れれば非常に楽しいものと思います。

公用語はスペイン語ですが読み方がローマ字読みで例外もさほど多くないので、日本人には比較的受け入れやすい言語です。住む人々は穏やかでラテンの流れをくみ明るく、身体的特徴も日本人と大きく変わらないので、違和感なく溶け込めると思います。

行って良かったと思える国だと思います。